

4 予算案におけるその他の取り組み

(1) インセンティブ予算付与状況

インセンティブ予算とは、各部・局の創意工夫による経費節減や財源確保の取り組みを評価し、3年間別枠で配分される予算で、平成 19 年度予算から導入したものです。

平成 22 年度は、各部から 15 件の取り組みが申請され、審査の結果 10 件の取り組みに対してインセンティブ予算を付与することといたしました。

◎節減額・財源確保額合計	37,079千円
◆インセンティブ予算付与額合計	12,984千円

平成 22 年度予算では、上記の他に平成 20 年度から引き続き各部に付与された 57,883 千円と合わせて、総額 70,867 千円のインセンティブ予算が付与されました。

■新たにインセンティブ予算の付与された取り組み（主なもの）

○違法駐車対策事業《交通安全課》

違法駐車等防止指導委託で、仕様書の見直しを行い、随意契約から競争入札に切り替えたことにより、経費が節減できた。

◎節減額 11,048 千円 ◆インセンティブ予算付与額 5,524 千円

○廃棄物処理事業《清掃工場》

リサイクル文化センターで使用する電力の内、ごみ発電でまかないきれない分の電力購入について、競争入札により契約することで、光熱水費を節減できた。

◎節減額 6,315 千円 ◆インセンティブ予算付与額 3,158 千円

○本庁舎駐車場等の土地賃貸借契約《財務部管財課》

本庁舎駐車場、第 2 駐車場、中町第三庁舎駐車場を民間に貸し付けたことで、貸付料収入を得た。

◎財源確保額 4,504 千円 ◆インセンティブ予算付与額 2,252 千円

○駐車場等管理事務《財務部管財課》

本庁、第 2 駐車場、中町第三庁舎駐車場を機械化するため、仕様書を変更し委託料を削減した。

◎節減額 3,243 千円 ◆インセンティブ予算付与額 1,623 千円

■インセンティブ予算の付与状況

単位：千円

部	インセンティブ付与額			計
	平成20年度分	平成21年度分	平成22年度分	
政策経営部	1,640	1,127	0	2,767
財務部	1,000	0	3,875	4,875
市民部	0	4,705	397	5,102
地域福祉部	3,000	0	0	3,000
子ども生活部	3,000	2,000	30	5,030
環境資源部	8,886	12,000	3,158	24,044
建設部	2,000	0	5,524	7,524
都市づくり部	0	3,125	0	3,125
上下水道部	1,000	0	0	1,000
生涯学習部	9,250	5,150	0	14,400
計	29,776	28,107	12,984	70,867

■インセンティブ予算充当事業（主なもの）

・固定資産税ガイドブック	1,000 千円	（財務部）
・地域活動フェスティバル負担金	1,000 千円	（市民部）
・重度重複障がい者通所事業	1,500 千円	（地域福祉部）
・障がい者レスパイト事業（一時預かり）	1,500 千円	（地域福祉部）
・保育士スキルアップ研修講師謝礼	1,500 千円	（子ども生活部）
・持込ごみ処理委託料	24,044 千円	（環境資源部）
・通学路路面改良工事（グリーン舗装）	3,500 千円	（建設部）
・町田ぼたん園管理事務	1,700 千円	（都市づくり部）
・薬師池公園管理事務	1,300 千円	（都市づくり部）
・図書購入費	6,000 千円	（生涯学習部）
・図書返却ポスト	889 千円	（生涯学習部）

(2) 事務事業の見直し状況

平成 22 年度の予算編成にあたっては、経常経費の縮減を目標として、事務事業の見直しを行いました。各部の事務事業の見直し、経費節減の取り組みは以下のとおりです。

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
政策経営部 (歳入)	7,840	9,227	7,840	1,387	
政策経営部 (歳出)	31,589	17,241	19,623	▲ 2,382	▲ 2,382

○外部監査事務（経営改革室）

中核市で行なっている外部監査契約の平均額を再調査し、金額の見直しを行った。

21 17,000 千円 → 22 15,000 千円 効果額 ▲2,000 千円

○市長交際費額の見直し（秘書課）

使用実績に即して市長交際費に関する予算を見直した。

市長交際費 21 1,800 千円 → 22 1,500 千円 効果額 ▲300 千円

○秘書課事務 旅費の見直し（秘書課）

使用実績に即して市長交際費に関する予算を見直した。

旅費 21 823 千円 → 22 741 千円 効果額 ▲82 千円

○「まちビジョン」等広告枠拡大に伴う歳入増（広報広聴課）

広告費 21 7,840 千円 → 22 9,227 千円 効果額 1,387 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
総務部	103,319	71,353	103,319	▲ 31,966	▲ 31,966

○デジタル複合機（庁内貸出用複写機）の契約方法の見直し（総務課）

複写機の賃貸借及び使用料の契約をメーカーと特命随意契約していたが、契約方法の見直しを行い、入札でリース会社と賃貸借契約を締結し、賃借料を削減した。

21 2,004 千円 → 22 1,169 千円 効果額 ▲835 千円

○行政法律相談事業の見直し（法務課）

平成 22 年 4 月から特定任期付職員（庁内弁護士）1 人を採用することに伴い、行政法律相談の委託人数を見直し、3 人から 2 人として弁護士委託料を減額した。

21 3,780 千円 → 22 2,520 千円 効果額 ▲1,260 千円

○町田市職員互助会交付金の見直し（職員課）

包括外部監査指摘事項の「交付金のあり方を見直しを求めるもの」に対して、交付率を年間給料総額の 4/1000 から 3/1000 に見直したことで交付金額を削減した。

21 40,323 千円 → 22 28,714 千円 効果額 ▲11,609 千円

○情報セキュリティ監査委託の見直し（情報システム課）

入札実施により経費を削減した。

21 10,000 千円 → 22 8,000 千円 効果額 ▲2,000 千円

○異動や組織改正に伴うネットワーク整備費の見直し（情報システム課）

端末接続方法の簡素化により経費を削減した。

21 20,800 千円 → 22 15,000 千円 効果額 ▲5,800 千円

○休日開庁システム運用業務委託の見直し（情報システム課）

運用体制の見直しにより経費を削減した。

21 12,000 千円 → 22 3,780 千円 効果額 ▲8,220 千円

○消耗品費の見直し（情報システム課）

各事業を見直し削減した。 情報化計画推進事業 ▲22 千円、OA化推進事業 ▲970 千円

情報システム運用管理事務 ▲250 千円、電子自治体整備事業 ▲1,000 千円

21 14,412 千円 → 22 12,170 千円 効果額 ▲2,242 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
財務部	9,500	8,595	18,685	▲ 10,090	▲ 10,090

○車両の買い替えの見直し

10 年で走行距離 10 万 km の買い替え基準に達した車両においても、安全性を確認した上、必要最低限の車両のみの買い替えに変更した。 効果額 ▲10,090 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
市民部	108	51	108	▲ 57	▲ 57

○「消費生活センター管理運営」のうち、インターネット通信費について、ISDN から光通信に変更し通信料を削減した。 効果額 ▲57 千円

○施設の総合管理委託業務は、順次長期継続契約に移行する。

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
市民部（防災安全課）	2,000	1,500	2,000	▲ 500	▲ 500

○消防団家族福利厚生事業に対する交付金見直し

消防団の家族交流会への交付金を見直し、交付額を減額した。

21 2,000 千円 → 22 1,500 千円 効果額 ▲500 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
文化スポーツ振興部	41,817	29,219	41,817	▲ 12,598	▲ 12,598

○新しい成人式事業

成人式事業委託料の見直し	21	5,000 千円	→	22	4,892 千円	効果額 ▲108 千円
会場借上料の見直し	21	2,520 千円	→	22	2,346 千円	効果額 ▲174 千円

○広域体育大会事業

都民体育大会・市町村総合体育大会委託料の見直し(大会派遣人員・事務費等の見直し)

	21	1,646 千円	→	22	1,208 千円	効果額 ▲438 千円
--	----	----------	---	----	----------	-------------

○学校施設開放事業

学校開放プール委託料の見直し	21	7,783 千円	→	22	7,242 千円	効果額 ▲541 千円
----------------	----	----------	---	----	----------	-------------

○博物館展示事業

企画展示事業の見直し(館内展示事業の縮小と課題への対応)

	21	24,062 千円	→	22	13,531 千円	効果額▲10,531 千円
--	----	-----------	---	----	-----------	---------------

○国際版画美術館ハイビジョン事業

インターネット展の終了	21	806 千円	→	22	0 千円	効果額 ▲806 千円
-------------	----	--------	---	----	------	-------------

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
地域福祉部	23,576	18,029	23,576	▲ 5,547	0

○療育事業の自動車運行管理委託料の入札結果を参考に減額した。

	21	23,276 千円	→	22	17,829 千円	効果額 ▲5,447 千円
--	----	-----------	---	----	-----------	---------------

また、タクシー借上料を減額した。

	21	300 千円	→	22	200 千円	効果額 ▲100 千円
--	----	--------	---	----	--------	-------------

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
いきいき健康部	141,738	126,283	141,738	▲ 15,455	▲ 15,455

○高齢者生活支援事業「高齢者調髪事業委託料」

これまでの利用実績から、在宅訪問理美容券と特別養護老人ホーム出張調髪利用券の配布枚数を一律に年 8 枚から 6 枚(2 ヶ月に 1 枚)に変更した。

	21	27,164 千円	→	22	25,104 千円	効果額 ▲2,060 千円
--	----	-----------	---	----	-----------	---------------

○健康福祉会館事務「総合管理委託料」

長期継続契約による見直しを行った。

	21	27,121 千円	→	22	18,301 千円	効果額 ▲8,820 千円
--	----	-----------	---	----	-----------	---------------

○老人クラブ育成事業「町田市老人クラブ運営費補助金」

補助対象経費の社会奉仕活動と地域見守り活動について、項目を整理し、補助額を減額した。

21 32,025 千円（一財 10,313 千円） → 22 31,450 千円（一財 9,738 千円）
 効果額 ▲575 千円（一財▲575 千円）

○シルバー人材センター振興事業「(社) 町田市シルバー人材センター運営費補助金」

運営費補助については、包括外部監査による職員人件費に対する補助のあり方についての指摘を受け、人件費補助額を減額した。

21 55,428 千円（一財 40,933 千円） → 22 51,428 千円（一財 36,933 千円）
 効果額 ▲4,000 千円（一財▲4,000 千円）

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
子ども生活部	21,143	18,366	21,143	▲ 2,777	▲2,777

○鼓笛まつり委託料

当初の事業目的を達成したため廃止する。

21 400 千円 → 22 0 千円 効果額 ▲400 千円

○すみれ教室管理事務

建物総合管理業務委託を長期継続契約に移行し経費の縮減に努めた。

21 12,613 千円 → 22 11,299 千円 効果額 ▲1,314 千円

○ひなた村管理事務

建物総合管理業務委託を長期継続契約に移行し経費の縮減に努めた。

21 8,130 千円 → 22 7,067 千円 効果額 ▲1,063 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
経済観光部	59,300	52,935	57,841	▲ 4,906	▲ 4,053

○新・元気をさせ商店街事業補助金の見直し

効果額 ▲1,706 千円

商店街が実施するイベント事業に対する支援を行う「町田市新・元気をさせ商店街事業補助金」において、複数の商店街による共催イベントに対する補助額の上限を、商店街数に関わらず 300 万円とした。

○農地環境再生、鶴見川源流域再生モデル事業委託の見直し

効果額 ▲3,200 千円

平成 17 年度から実施してきたモデル事業について、環境再生・保全手法など、これまでの成果を基にし、市民・NPO との協働事業に移行することによって、委託料の減額を図る。

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
環境資源部 (歳入)	20,168	24,755	20,168	4,587	
環境資源部 (歳出)	240	200	240	▲ 40	0

○動物愛護の集い実行委員会補助金の見直し

21 240 千円 → 22 200 千円 効果額 ▲40 千円

○売電電力の入札に伴う雑入増

清掃工場では発電した電力の余剰分として、年間約 200 万キロワット以上の電力を売却する。

21 20,168 千円（歳入）→22 24,273 千円（歳入）効果額 4,105 千円

○廃家電製品等資源化に伴う売払い増

持ち込まれたごみのうち、再生可能な楽器・車椅子・オーディオ製品等を売払う。またこうしたものは主に発展途上国に搬出され現地で再利用されている。

21 0 千円（歳入）→22 482 千円（歳入）効果額 482 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
建設部	4,785	4,213	4,785	▲ 572	▲ 572

○街路灯電気料金補助事業

電気料金の値下がりに合わせて、予算見積り額を減額した。

補助金の見直し

効果額 ▲572 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
都市づくり部(歳入)	9,520	9,770	9,520	250	

○町田ぼたん園入園料の増加

効果額 250 千円

新たな PR 方法の検討など、積極的な来園者数向上に努める。

有料開園期間来園者数

一般 21 19,000 人→ 22 19,500 人 中高生 21 100 人→ 22 100 人

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
上下水道部 (一般会計)	35,786	32,782	35,786	▲ 3,004	▲ 1,398

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
上下水道部 (下水道事業会計)	38,968	32,970	38,968	▲ 5,998	▲ 5,998

○合併浄化槽設置事業補助の見直し（一般会計）

事業仕分けの指摘を受け、合併浄化槽設置補助額の見直しを行った。

21 35,786 千円 → 22 32,782 千円 効果額 ▲3,004 千円

○鶴見川クリーンセンター脱臭剤交換委託の見直し（下水道会計）

臭気発生源を調査・点検し、正確な臭気発生状況を捉え、交換回数を見直した結果、脱臭剤交換量を抑えることができた。

21 38,640,千円 → 22 32,970 千円 効果額 ▲5,670 千円

○鶴見川クリーンセンター構内電話保守点検委託の見直し（下水道会計）

更新工事により最新機種となり、障害発生時は修繕対応とし、保守点検委託を廃止する。

21 328 千円 → 22 0 円 効果額 ▲328 千円

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
市民病院	290,596	247,086	284,429	▲ 37,343	▲ 37,343

○清掃業務委託の見直し 効果額▲25,476 千円

随意契約から指名競争入札すると共に長期継続契約にし、委託料の削減を図る。

○警備業務委託の見直し 効果額 ▲1,575 千円

随意契約から指名競争入札すると共に長期継続契約にし、委託料の削減を図る。

○外来受付業務の直営化 効果額 ▲5,783 千円

外来受付業務を委託から病院採用の臨時職員に切り替え、費用の削減を図る。

○給食業務委託の見直し 効果額 ▲4,509 千円

材料購入を含めた委託内容とすることで、栄養士の本来業務である臨床栄養管理業務を強化できる。

また、入札参加業者が増加すること及び長期継続契約とすることで費用の削減を図る。

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
学校教育部	3,600	3,600	3,600	0	0

○平成 20 年度の包括外部監査の結果及び意見に基づき、下記の補助金について見直しを行った。

研究奨励費補助金について、各学校に対する補助金という形式を改め、科目別に再配当とした。

(単位：千円)

	平成 21 年度予算	平成 22 年度 予算案 (A)	見直しを行わなかった場 合の平成 22 年度予算 (B)	見直し効果額 (A-B)	
					うち一般財源額
生涯学習部	33,747	29,259	33,747	▲ 4,488	▲ 4,488

○図書配送業務の民間委託化

中央図書館庶務係で行っている図書配送業務について、各館への図書配送量の増大や市民センター等新たな配送拠点の整備に対応するため、従来 3 名（再任用、再雇用、一般嘱託各 1 名）で行っていた業務を 2010 年度から民間配送業者に委託する。

21 9,519 千円 → 22 8,316 千円 効果額 ▲1,203 千円

○文学館管理事務で、設備保守点検委託料、施設管理委託料の仕様の見直し

簡易保守点検の廃止など、業務全体を見直し、委託料の仕様を変更。

21 9,734 千円 → 22 7,003 千円 効果額 ▲2,731 千円

○公民館事業における報償費の見直し

市民団体や大学との連携事業を拡げ、謝礼金を抑えながら、良質な講座を維持する。

21 3,977 千円 → 22 3,635 千円 効果額 ▲342 千円

○公民館施設管理委託料の見直し

電話応答装置の導入により、休館日の管理員の配置を見直した。

21 10,517 千円 → 22 10,305 千円 効果額 ▲212 千円